

中学歴史	江戸時代②	年組番	1問 5点
経済の発達と元禄文化		名前	/100

①	江戸時代に開発された、土地を深く耕することができる農具	びっちゅう 備中ぐわ
②	江戸時代に開発された、効率よく脱穀するための農具	せんば 千歯こき
③	幕府や藩がおこなった、耕地面積を増やす政策	しんでんかいほつ 新田開発
④	日本海側から下関、瀬戸内海を通して大阪へと進む航路	にし こうろ 西まわり航路
⑤	江戸時代、政治の中心として栄えた江戸の異名	しょうぐん 将軍のおひざもと
⑥	江戸時代、全国の商業の中心として栄えた大阪の異名	てんか だいどころ 天下の台所
⑦	年貢米や特産物などの 保管や販売をおこなうために大阪においた倉庫	くらやしき 蔵屋敷
⑧	江戸・大阪・京都の三つの都市	さん と 三都
⑨	幕府に税を納めるかわりに、 独占的に商売をおこなう権利を得た同業者組合	かぶなかま 株仲間
⑩	金・銀・銭の貨幣を交換し、手数料で利益を得ていた商人	りょうがえしょう 両替商
⑪	17世紀末から18世紀初めにかけて、 上方(大阪や京都)の町人が担い手となった文化	げんろくぶんか 元禄文化
⑫	井原西鶴の「日本永代蔵」など、町人の生活を描いた小説	うきよぞうし 浮世草子
⑬	「曾根崎心中」など、人形浄瑠璃の脚本を書いた人物	ちかまつもんざうもん 近松門左衛門
⑭	東日本の各地をまわり、「奥の細道」を著した人物	まつおげしょう 松尾芭蕉
⑮	菱川師宣の「見返り美人図」など、役者絵や美人画などの木版画	うきよえ 浮世絵
⑯	生類憐れみの令を出して人々の不満を高めた 江戸幕府の5代将軍	とくがわつなよし 徳川綱吉
⑰	江戸幕府6、7代将軍の政治を補佐した儒学者	あらいほくせき 新井白石
⑱	現金収入を得るためにつくられる作物	しょうひんさくもつ 商品作物
⑲	年貢の軽減などを求めて、百姓がおこした一揆	ひやくしょういつき 百姓一揆
⑳	高利貸しや米を買い占めた商人の家などを破壊すること	う 打ちこわし

中学歴史	江戸時代②	年組番	1問 5点
経済の発達と元禄文化		名前	／100

①	びっちゅう 備中ぐわ	江戸時代に開発された、 (土地を深く耕す) ことができる農具
②	せんば 千歯こき	江戸時代に開発された、 (効率よく脱穀) するための農具
③	しんでんかいはいつ 新田開発	幕府や藩がおこなった、(耕地面積) を増やす政策
④	にし こうろ 西まわり航路	日本海側から下関、瀬戸内海を通して (大阪) へと進む航路
⑤	しょうぐん 将軍のおひざもと	江戸時代、(政治の中心) として栄えた (江戸) の異名
⑥	てんか だいどころ 天下の台所	江戸時代、全国の (商業の中心) として栄えた (大阪) の異名
⑦	くらしき 蔵屋敷	(年貢米) や特産物などの保管や販売を おこなうために (大阪) においた (倉庫)
⑧	さん と 三都	(江戸) ・ (大阪) ・ (京都) の三つの都市
⑨	かぶな かま 株仲間	幕府に税を納めるかわりに、 (独占) 的に商売をおこなう権利を得た (同業者組合)
⑩	りょうがえしょう 両替商	金・銀・銭の (貨幣を交換) し、 手数料で利益を得ていた商人
⑪	げんろくぶんか 元禄文化	17世紀末から18世紀初めにかけて、 (上方) (大阪や京都)の (町人) が担い手となった文化
⑫	うきよざうし 浮世草子	(井原西鶴) の「日本永代蔵」など、町人の生活を描いた小説
⑬	ちかまつもん ざうもん 近松門左衛門	「曾根崎心中」など、(人形浄瑠璃) の脚本を書いた人物
⑭	まつおばしょう 松尾芭蕉	東日本の各地をまわり、「 (奥の細道) 」を著した人物
⑮	うきよえ 浮世絵	(菱川師宣) の「見返り美人図」など、 役者絵や美人画などの木版画
⑯	とくがわつなよし 徳川綱吉	(生類憐れみの令) を出して人々の不満を高めた 江戸幕府の (5) 代将軍
⑰	あら いはくせき 新井白石	江戸幕府6、7代将軍の (政治を補佐) した (儒学者)
⑱	しょうひんさくもつ 商品作物	(現金収入) を得るためにつくられる作物
⑲	ひやくしょういつき 百姓一揆	(年貢) の軽減などを求めて、百姓がおこした一揆
⑳	う 打ちこわし	高利貸しや (米) を買い占めた商人の家などを破壊すること

中学歴史	江戸時代②	年組番	1問 5点
経済の発達と元禄文化		名前	/100

①	びっちゅう 備中ぐわ	江戸時代に開発された、土地を深く耕することができる農具
②	せんば 千歯こき	江戸時代に開発された、効率よく脱穀するための農具
③	しんでんかいはつ 新田開発	幕府や藩がおこなった、耕地面積を増やす政策
④	にし こうろ 西まわり航路	日本海側から下関、瀬戸内海を通過して大阪へと進む航路
⑤	しょうぐん 将軍のおひざもと	江戸時代、政治の中心として栄えた江戸の異名
⑥	てんか だいどころ 天下の台所	江戸時代、全国の商業の中心として栄えた大阪の異名
⑦	くらしき 蔵屋敷	年貢米や特産物などの 保管や販売をおこなうために大阪においた倉庫
⑧	さん と 三都	江戸・大阪・京都の三つの都市
⑨	かぶな かま 株仲間	幕府に税を納めるかわりに、 独占的に商売をおこなう権利を得た同業者組合
⑩	りょうがえしょう 両替商	金・銀・銭の貨幣を交換し、手数料で利益を得ていた商人
⑪	げんろくぶんか 元禄文化	17世紀末から18世紀初めにかけて、 上方(大阪や京都)の町人が担い手となった文化
⑫	うきよ ざうし 浮世草子	井原西鶴の「日本永代蔵」など、町人の生活を描いた小説
⑬	ちかまつもん ざうもん 近松門左衛門	「曾根崎心中」など、人形浄瑠璃の脚本を書いた人物
⑭	まつお ばしょう 松尾芭蕉	東日本の各地をまわり、「奥の細道」を著した人物
⑮	うきよ え 浮世絵	菱川師宣の「見返り美人図」など、役者絵や美人画などの木版画
⑯	とくが わつなよし 徳川綱吉	生類憐れみの令を出して人々の不満を高めた 江戸幕府の5代将軍
⑰	あら いはくせき 新井白石	江戸幕府6、7代将軍の政治を補佐した儒学者
⑱	しょうひんさくもつ 商品作物	現金収入を得るためにつくられる作物
⑲	ひやくしょういつき 百姓一揆	年貢の軽減などを求めて、百姓がおこした一揆
⑳	う 打ちこわし	高利貸しや米を買い占めた商人の家などを破壊すること